ふるさと納税便りvol．5

ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）
をいただいた皆様へ

秋涼の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。皆様には、ふるさと納税を通して、本市に対して大変温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。

ふるさと納税便りは、皆様からの貴重な寄附金を、どのように活用させていただいたのか、その内容についてお知らせするものです。

今回は、平成24年に頂戴した寄附金を活用し、平成25年度に実施した事業内容について掲載しています。

今後も引き続き、佐賀市への応援をよろしくお願いいたします。

～往年のふるさと～

昭和39年　オリンピック聖火の通過
（東京オリンピック）

昭和28年　諸富・若津の渡し（奥は筑後川昇開橋）
この後、昭和30年に諸富橋が開通します。

1．ふるさと応援寄附金
平成25年度の使いみちのご報告

平成24年1月～12月に頂戴した寄附金3,328千円については、下表のとおり、平成25年度実施事業に活用させていただきました。
使途指定をいただいたものはご指定内容をもとに、使途指定がなかったものは、(1)～(5)の５つの寄附メニューに振り分けて、活用させていただいております。
次のページからは、詳しい使いみちについてご報告いたします。

メニュー項目	H24.1～H24.12 寄附金合計	H25年度事業 活用額(決算)	備考
(1)晩秋の佐賀の風物詩「バルーン大会」	103,000円	342,000円	
(2)市立図書館での生涯学習のお手伝い (図書の充実)	2,000円	241,000円	
(3)多布施川の桜並木の保全	95,000円	334,000円	
(4)さあ！大人の出番です。 「こどもへのまなざし運動」	100,000円	347,000円	
(5)魅力ある地域文化保存継承への支援	15,000円	254,000円	
(6)市立小・中学校への支援(学校指定)	100,000円	100,000円	成章中学校
(7)市長おまかせコース(指定なし)	1,195,000円	―	(1)から(5)へ振り分け
(8)大隈記念事業	245,000円	0円	積立てを行い、後年度に活用
(9)世界遺産登録推進事業	2,000円	0円	積立てを行い、後年度に活用
(10)川副桜ロードの維持管理	1,355,000円	845,000円	数年に分けて活用
(11)図書館富士館の図書の充実	―	250,000円	数年に分けて活用
(12)佐賀市への定住促進	88,000円	88,000円	
合　計	3,328,000円	2,801,000円	

ご寄附の活用状況

1. 晩秋の佐賀の風物詩「バルーン大会」

平成25年10月31日（木）から11月4日（月）まで、アジア最大の熱気球イベント「２０１３佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」が嘉瀬川河川敷で開催されました。
13ヵ国の地域から101機のバルーンが参加して熱戦が繰り広げられ、期間中、約81万人のお客様にご来場いただくことができました。
平成26年1月19日（日）には、「環境にやさしい取り組み」として、バルーン大会で使用するプロパンガスなどから二酸化炭素が排出されるため、地球温暖化の防止に貢献することを目的に、バルーンパイロットなどにより、桜の木200本の植樹を実施しました。
この植樹も今回で４年目の取り組みとなりましたが、佐賀の大空に浮かぶバルーンと子どもたちの笑顔がずっと続くことを願い、今後も継続して実施してまいります。
皆様から頂いた寄附金は、大会広報パンフレットの作成や植樹の経費の一部として大切に活用させていただきました。

植樹の様子

2. 市立図書館での生涯学習のお手伝い

佐賀市立図書館に寄附いただきましてありがとうございます。
寄附金を活用し、児童書(絵本)を中心に122冊の本を購入しました。夏休みの間、特設コーナーに展示して貸し出したところ、本を置くとすぐに借りられるほどの人気で、たくさんの児童の笑顔を見ることができました。
市立図書館は「市民と共に育つ図書館」を基本理念として、たくさんの方に本に触れていただいています。
利用者の皆様に愛され、育てていただいている本館をこれからもよろしくお願いいたします。

特設コーナーで本を紹介する担当職員

ご寄附の活用状況

3. 多布施川の桜並木の保全

多布施川河畔公園は、市中央部を流れる多布施川沿いの公園で、約6キロに及ぶ桜並木には、約3,000本の桜が植栽されています。
春には10種類以上の桜が咲き誇ります。満開の桜が川面に写りこむ景観は多くの市民に親しまれており、佐賀を離れた方々にとっても懐かしい風景の一つではないでしょうか。
しかし、代表的な桜の種類であるソメイヨシノの寿命は約50～60年といわれており、多布施川沿いの桜も世代交代が必要な時期を迎えています。平成24年度と25年度には桜再生整備事業を実施し、多布施川河畔公園には桜の苗木214本の植栽を実施しました。
今回は、寄附金によりツバキカンザクラ、ヨウコウサクラ、オモイガワサクラ、ケイオウサクラを３本ずつ、計12本を植樹することができました。春になると、多布施川沿いを多様な桜が彩り、訪れる人々を楽しませてくれると思います。

植栽後の写真（ヨウコウサクラ）

満開時の様子（多布施川河畔公園）

4. さあ！大人の出番です。「こどもへのまなざし運動」

本市では、市民総参加で子どもを育む市民運動「子どもへのまなざし運動」を推進しています。いただいた寄附金を活用し、「まなざしベスト」や「まなざし帽子」に製作し、各校区での市民総ぐるみ街頭活動やお祭り、イベント時に校区の役員やボランティアのみなさんが着用されています。
地域のみなさんからは、「いただいた物品を地域の活動に役立てていきます。ありがとうございます。」と感謝の言葉をいただいています。

まなざしベストを着用し、街頭活動
（新栄校区：青少年健全育成会のみなさん）

校区のおまつりの模擬店でまなざしベストを活用（北川副校区ふれあい冬まつり）

ご寄附の活用状況

5. 魅力ある地域文化保存継承への支援

佐賀市には、固有の行事や伝統芸能、歴史や文化（地域資源）があふれています。これらの地域資源は、地域の住民の方などにより守り伝えられてきました。

「地域文化保存・継承支援事業」では、これらの地域資源を次世代に継承することを目的として活動している団体に対し支援を行っています。

平成２５年度は、次の６事業の補助に「ふるさと応援寄付金」を活用しました。

①乙護神社奉納浮立袢天、篠笛の購入（嘉瀬町）
②四面神社奉納浮立子供用の鉦（かね）の購入（嘉瀬町）
③五龍神社の絵馬製作（鍋島町）
④観音堂の修繕（諸富町）
⑤北川副校区の歴史文化マップ作成（北川副町）
⑥大久保天満宮の歌仙絵馬製作（大和町）

H25.10　乙護神社奉納浮立

歌仙絵馬
地元の学生らの協力のもと製作されました。

6. 市立小・中学校への支援（学校指定）

成章中学校では、いただいた寄附金をもとに、吹奏楽で使用するバスドラムのスタンドを購入しました。

当時、スタンドがタイヤ部分から壊れており、重い楽器を運ぶのに生徒たちは大変苦労をしていました。

寄附金のおかげで新しいスタンドを購入することができ、移動も以前のように苦労することがなくなり大変助かっています。楽器もしっかりとスタンドに固定されているので安心して演奏ができるようになりました。

生徒も集中して練習に励むことができると、たいへん喜んでいます。

購入した新しいバスドラムスタンド
新しいスタンドのおかげで容易に移動ができるので、助かります。

ご寄附の活用状況

7. 寄附者からの使途希望

●川副さくらロードの維持管理

有明佐賀空港の北側に桜の名所「さくらロード」があります。

延長1.7ｋｍの両側には400本以上の桜が彩り、まるでピンクの滑走路を連想させます。また、西側には約6,000株の芝桜も花を咲かせています。

平成25年度は、桜のよりよい成長のために防除、施肥を行い、今後、新たに桜を植樹する場所の土壌調査を行いました。皆様からたくさんの御支援をいただき、今まで以上の管理ができるようになっています。今後も佐賀の玄関口として、また、憩いの場として多くの方に楽しんでいただけるよう努めてまいります。

満開のさくらロード

植栽した芝桜

●図書館富士館の図書の充実

佐賀市立図書館富士館へのご寄附、誠にありがとうございます。

この寄附金は、平成24年度から4年間で使用させていただくことにしており、平成25年度も「文学作品（一般9類）」を185冊購入することができました。

全国的に図書館における資料購入費が削減の傾向にある中で、文学作品の購入・確保をする事ができ、「年々書架本が充実してきているね。」といった利用者からのお声を頂くなど、お蔭様で皆さまにも大変喜んで頂いております。

特設コーナー（常設）

●佐賀市への定住促進

佐賀市は、本市への定住促進を図るため、ホームページやＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、情報誌等を活用した定住情報の発信や、首都圏等で開催される「ふるさと回帰フェア」などの相談会に出展しています。

「ふるさと回帰フェア」でのＵＩＪターンの相談窓口

２．ふるさと応援寄附金
平成26年度の使いみちについて

平成25年1月～12月までに、2,850千円もの寄附金をいただきました。
このうち2,742千円について、下表のとおり、平成26年度事業として実施してまいります。
使途指定をいただいたものはご指定内容をもとに、使途指定がなかったものは、(1)～(5)の５つの寄附メニューに振り分けて、活用させていただいております。
具体的な活用内容は、当該期間に寄附いただいた方へ来年お届けする予定のvol.6にてご報告させていただきます。

メニュー項目	H25.1～H25.12 寄附金合計	H26年度事業 活用額(予算)	備考
(1)晩秋の佐賀の風物詩「バルーン大会」	110,000円	191,000円	
(2)市立図書館での生涯学習のお手伝い (図書の充実)	5,000円	87,000円	
(3)多布施川の桜並木の保全	300,000円	381,000円	
(4)さあ！大人の出番です。 「こどもへのまなざし運動」	110,000円	191,000円	
(5)魅力ある地域文化保存継承への支援	25,000円	106,000円	
(6)市立小・中学校への支援(学校指定)	160,000円	160,000円	成章中、富士小、東与賀小
(7)市長おまかせコース(指定なし)	406,000円	—	(1)から(5)へ振り分け
(8)大隈記念事業	210,000円	—	積立てを行い、後年度に活用
(9)世界遺産登録推進事業	323,000円	325,000円	以前の寄附を今回活用
(10)川副桜ロードの維持管理	1,150,000円	1,000,000円	後年度のため、一部積立て
(11)佐賀市への定住促進	21,000円	21,000円	
(12)図書館富士館の図書の充実	30,000円	280,000円	以前の寄附を4年間にわたり活用中
合　計	2,850,000円	2,742,000円	

トピックス

その１

2016年熱気球世界選手権の開催が決定！

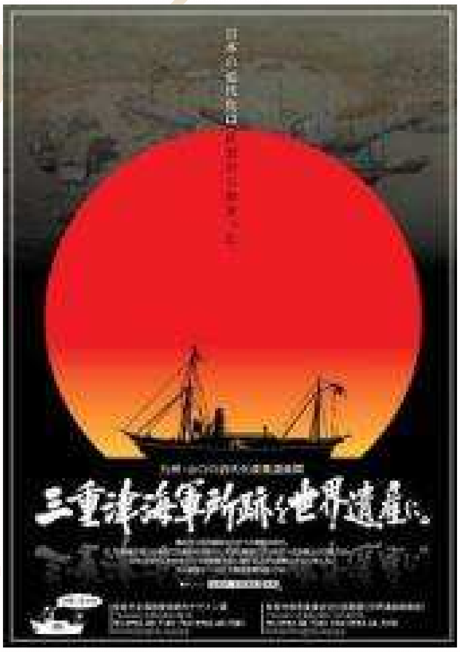
本市での2016年世界選手権の開催が決定しました。1997年以来19年ぶり3回目の開催となり、アジア一番のバルーンのまちとして、大会の成功に向けて取り組んでいきます。

★開催期間
2016年10月28日（金）から11月7日（月）まで

その２

三重津海軍所跡を世界文化遺産に！

寄附メニューのひとつである世界遺産登録推進事業。10月初めには、ユネスコの諮問機関による現地調査が行われました。
来年６月末に、ドイツで開かれるユネスコ世界遺産委員会で登録の可否が決定されます。



発行:企画政策課（0952-40-7025）
寄附受付:秘書課（0952-40-7020）